

## 日本の伝統文化と伝統工芸を堪能できる 「三溪園で過ごすお正月—横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開」

2023年1月1日(日・祝)～1月3日(火)

国指定名勝「三溪園」(所在地:横浜市中区)では、2023年1月1日(日・祝)～1月3日(火)まで、原三溪が住居としていた「鶴翔閣(かくしょうかく)」(横浜市指定有形文化財)を特別公開し、「三溪園で過ごすお正月—横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開」を行います。例年の「庖丁式」「箏曲演奏」の催し物を日替わりで実施。また今回は、玄関と楽室棟広間に三溪園ゆかりの着物を飾り、伝統工芸の第一線で活躍している8名の作家による作品の展示・販売も茶の間棟で開催します。三箇日は三溪園で日本のお正月を存分にご堪能いただけます。



### お正月の見どころエリアの分散と感染予防対策

昨年より密集を避けてゆっくりとお楽しみいただくために、日替わりの催し物に定員を設け事前にオンライン(peatix)で参加チケットを購入する方法としています。会場となる鶴翔閣は広い日本家屋で風通しがよく通気性に優れているうえ、開催期間中は窓を開けて換気に配慮した公開を行いアルコール消毒なども実施します。

催し物会場以外の見どころとして、合掌造り「旧矢筈原家住宅(きゅうやのはらけじゅうたく)」(重要文化財)に飾られる飛騨地方伝統の“花餅”や「三溪園天満宮」への初詣など、来園者に広い園内を分散して観覧していただき開放的な空間で安心して寿ぐお正月を過ごしていただけるよう取り組んでまいります。

■横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開



明治35年（1902）に原三溪が三溪園造成にあたって足がかりとして建てた住居が「鶴翔閣」です。三が日は内部を特別公開するほか、楽室棟では日替わりで日本伝統の催し物や三溪園ゆかりの着物などの展示、伝統工芸品の展示・販売もお楽しみいただけます。

期間 2023年1月1日（日・祝）～1月3日（火）  
時間 9:00～16:00  
（三溪園の開園時間は9:00～17:00、入園は16:30まで）  
料金 鶴翔閣公開：無料（入園料別途）

■日替わりで開催される催し物

お正月に鶴翔閣で開催される演目は毎年大人気。そのため、今年も人数を限定した参加チケットを用意しました。混雑を避けてゆっくりとご鑑賞いただけます。（鑑賞には参加チケットが必要です）

【催し物】 場所 楽室棟



日付 1月1日（日・祝）  
時間 10:00～／11:15～／13:00～／14:15～ \*各回約30分  
演目 箏曲と尺八演奏 「春の海」「春の曲」「彩」ほか  
出演 アトリエ箏こだま（児玉寛子 ほか2名）  
料金 シングルS席：800円 シングルA席：700円  
シングルB席：500円

事前予約制 <https://peatix.com/event/3440801/view>



日付 1月2日（月）  
時間 11:00～12:00／14:00～15:00  
演目 庖丁式 「宝船之鯛」  
出演 横浜萬屋心友会・興禅寺雅楽会  
料金 シングルS席（座布団）：3,000円  
シングルA席（椅子席・立見不可）：3,000円  
シングルB席（椅子席・立見可）：2,800円

事前予約制 <https://peatix.com/event/3445163/view>



日付 1月3日（火）  
時間 10:00～／11:15～／13:00～／14:15～ \*各回約30分  
演目 箏曲演奏 「春の海」「エトピリカ」「Lemon」ほか  
出演 琴美会（寺井奈美 ほか）  
料金 シングルS席：800円 シングルA席：700円  
シングルB席：500円

事前予約制 <https://peatix.com/event/3445111/view>

### ■三溪園ゆかりの着物などの室礼・展示

鶴翔閣に三溪園の創設者・原三溪ゆかりの着物などを飾ります。

場所 玄関、楽室棟広間

協力 やまもと工藝 <http://yamamoto-kimono.com/>

料金 無料（入園料別途）



### ■伝統工芸、文化で寿ぐお正月 パート1

新春をテーマにした、現代の伝統工芸の第一線で活躍している8名の作家による作品の展示・販売を行います。

場所 茶の間棟

出品 箱瀬淳一 漆、蒔絵の作品

中島洋一 古典織物

辛島綾 折形

飯島桃子 日本刺繍

久保紀波 染色

小田賢 日本画の飾り扇子

小熊廣美 書の飾り扇子

石塚智之 干支の扇



### その他の催事

#### ■伝統工芸、文化で寿ぐお正月パート2

三溪園で文化芸術にも造詣が深かった原三溪が晩年暮らし、当時の文化人との交流の場ともなった白雲邸を会場に、現代の伝統工芸の第一線で活躍している作家によるワークショップや講演を行います。

会場 横浜市指定有形文化財 白雲邸

主催 アトリエ Kinami

#### 【ワークショップ・講演】

日付 1月2日（月）

時間 12:30～15:30

内容 金継ぎ体験（初心者向き）

作家 箱瀬淳一

料金 3,300円（定員6名）

事前予約制 <https://my-site-107655-106357.square.site/product/-/1?cp=true&sa=true&sbp=false&q=false>



日付 1月2日（月）

時間 13:00～14:00

内容 吉祥文様のルーツを紐解く ※巾着のお土産付き  
新年を迎えるのに相応しい吉祥文様についてのお話会

作家 中島洋一

料金 11,000円（定員10名）

事前予約制 <https://my-site-107655-106357.square.site/product/-1-2-/3?cp=true&sa=true&sbp=false&q=false>





日付 1月3日(火)  
時間 12:30~14:00  
内容 箱瀬淳一さんを囲んで ※盃のお土産付き  
蒔絵の盃で飲む能登の地酒とお料理つきのお話会  
作家 箱瀬淳一  
料金 33,000円(定員10名)

事前予約制 <https://my-site-107655-106357.square.site/product/-/2?cp=true&sa=true&sbp=false&q=false>



日付 1月3日(火)  
時間 12:30~14:00  
内容 「卵形胡麻塩包」 「祝い箸包」  
作家 辛島綾  
料金 3,300円(定員12名)

事前予約制 <https://my-site-107655-106357.square.site/product/-/4?cp=true&sa=true&sbp=false&q=false>



日付 1月3日(火)  
時間 14:30~15:30  
内容 吉祥文様のルーツを紐解く ※巾着のお土産付き  
新年を迎えるのに相応しい吉祥文様についてのお話会  
作家 中島洋一  
料金 11,000円(定員10名)

事前予約制 <https://my-site-107655-106357.square.site/product/-1-3-/6?cp=true&sa=true&sbp=false&q=false>



日付 1月3日(火)  
時間 14:30~15:30  
内容 「兎の粉包み」  
作家 辛島綾  
料金 1,100円(定員20名)

事前予約制 <https://my-site-107655-106357.square.site/product/-/5?cp=true&sa=true&sbp=false&q=false>

#### 箱瀬淳一プロフィール

1975年に蒔絵師である田中勝氏に師事し、5年後に独立。そこから自らの感性に従い作品を作り続けてきました。時には時代に抗い、きらびやかな蒔絵が全盛期とあれば敢えて無地の漆器を作り、周りが無地に寄れば、自分を蒔絵で表現しました。

現在は普段使いの漆器を提案しながら、銀座和光ホールでの個展やヴァンクリーフ&アーペル、クリストフルなど海外のブランドともコラボレーションし、新たな漆の形も追求するため日々仕事に励んでいます。

#### 中島洋一プロフィール

多摩美術大学卒業。古典織物の研究、修復、復元、保存、制作に携わる。伝統文化ポーラ賞 奨励賞、民族衣装文化功労者 きもの文化賞、S&R 財団 ワシントン特別賞等受賞。

辛島綾プロフィール

多摩美術大学卒業。多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻准教授。

### ■合掌造りのお正月



三溪の故郷、岐阜県から移築した合掌造り「旧矢筈原家住宅」では、飛騨地方に伝わる花餅を飾ります。

その年の豊作を祈り無病息災を願うためのもので、脇から枝が出た木の切り株を山から採り、花に見立てた餅をまきつけて飾ります。冬の間、深い雪に閉ざされる飛騨地方ならではの正月の設えを楽しめます。

場所 旧矢筈原家住宅

時間 9:00～16:30

料金 無料（入園料別途）

### ■三溪園天満宮で初詣

園内の一角にある三溪園天満宮（旧間門天神）は、学問の神様として知られています。ゆっくりとお参りしていただけます。



### ◆三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって、1906年（明治39）5月1日に公開。175,000㎡に及ぶ園内には京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置されている。2007年（平成19）に国の名勝に指定。（現在、重要文化財10棟・横浜市指定有形文化財3棟）

### ◆原三溪について

原 三溪（本名富太郎）（1868年/慶応4-1939年/昭和14）

岐阜県厚見郡佐波村（現在の岐阜県岐阜市柳津町）で代々に渡り、庄屋をつとめた青木家の長男として生まれる。幼少の頃から絵・漢学・詩文を学び、1885年（明治18）東京専門学校（現在の早稲田大学）に入学、政治・法律を学ぶ。1888年（明治21）頃に跡見学校の助教師になり、1891年（明治24）、原善三郎の孫娘、屋寿と結婚し原家に入籍。原家の家業を継ぐと、経営の近代化と国際化に力を入れ、実業家として成功を収める。住まいを本牧・三之谷へ移すと古建築の移築を開始し、1906年（明治39）三溪園を無料開園。1923年（大正12）の関東大震災後は、荒廃した横浜の復興に力を注ぐ。三溪自身も書画をたしなみ、その作品の一部は、園内の三溪記念館に収蔵されている。



---

## 施設概要

---



施設名	三溪園（さんけいえん）
運 営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
入園料	大人 700 円 / 小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 200 円（濱ともカードの提示が必要）
開園時間	9：00～17：00（最終入園 16：30） *イベントによって異なる場合あり
休園日	2022 年 12 月 26 日～31 日 *12 月 26 日～28 日は、施設整備のため臨時休園
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 35 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分
公式 HP	<a href="http://www.sankeien.or.jp">www.sankeien.or.jp</a>
Instagram	<a href="https://www.instagram.com/sankeien_garden">www.instagram.com/sankeien_garden</a>
Twitter	<a href="https://twitter.com/HSankeien">twitter.com/HSankeien</a>

---

## 本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 事業課 広報担当 岩本・加藤

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343

MAIL：iwamoto@sankeien.or.jp